

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成25年2月7日(2013.2.7)

【公表番号】特表2011-506879(P2011-506879A)

【公表日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-009

【出願番号】特願2010-538319(P2010-538319)

【国際特許分類】

F 16 G 5/18 (2006.01)

F 16 H 9/16 (2006.01)

【F I】

F 16 G 5/18 C

F 16 H 9/16

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ロッカージョイントチェーン(22)のためのリンクプレート(21)であって、該リンクプレート(21)はリンクプレート開口(23)を取り囲む2つの長手方向辺(26)と2つの高さ方向辺(27)とを有している、ロッカージョイントチェーンのためのリンクプレートにおいて、

長手方向辺(26)の少なくとも1つに、少なくとも1つの切欠き(31)が配置されており、前記長手方向辺は切欠き(31)の領域において底線(33)に対して厚さbを有しており、前記切欠きは底線(33)に対して深さaを有しており、比率は $0.1a/b = 0.5$ であることを特徴とする、ロッカージョイントチェーンのためのリンクプレート。

【請求項2】

切欠き(31)はリンクプレート(21)の長手方向輪郭において、台形状又は方形状であることを特徴とする、請求項1記載のリンクプレート。

【請求項3】

切欠き(31)は並列させられた凸状及び凹状の曲線により形成され、該曲線は緩やかに互いに移行し、台形状又は方形状の切欠きを形成することを特徴とする、請求項1又は2記載のリンクプレート。

【請求項4】

前記凸状又は凹状の曲線は丸み(R)であることを特徴とする、請求項3記載のリンクプレート。

【請求項5】

丸み(R)は同じであることを特徴とする、請求項4記載のリンクプレート。

【請求項6】

切欠き(31)はリンクプレート(21)の長手方向輪郭において部分円形状であるか、又は部分橜円形状であることを特徴とする、請求項1又は2記載のリンクプレート。

【請求項7】

複数の切欠き(31.1, 31.2)が1つの長手方向辺(26)に配置されているこ

とを特徴とする、請求項 1 から 6 までのいずれか一項記載のリンクプレート。

【請求項 8】

複数の切欠き (3 1 . 1 , 3 1 . 2) は前記リンクプレートの中心線 (3 6) に対して対称的に配置されていることを特徴とする、請求項 7 記載のリンクプレート。

【請求項 9】

請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項記載のリンクプレート (2 1) を少なくとも部分的に有することを特徴とする、ロッカージョイントチェーン。

【請求項 10】

請求項 9 記載のロッカージョイントチェーン (2 2) を備えたバリエータ変速機において、リンクプレート (2 1) の切欠き (3 1) は、運転中にガイドレール (1 6) の滑走路 (1 7 , 1 8) を通り過ぎて案内されるリンクプレート (2 1) の面に配置されていることを特徴とする、請求項 9 記載のロッカージョイントチェーンを備えたバリエータ変速機。